

＜白梅学びのエリア教育目標＞ よりよい未来・主役は子ども

～ 「自立・貢献・共生・創造」、よりよい未来を切り拓く人を目指して ～



＜本校の教育目標＞ かしこく・やさしく・たくましく

令和7年度

金沢小だより

7月号

令和7年6月30日

板橋区立金沢小学校

校長 神保 幸次郎

「ノーチャイム」が育む、自立と自律

校長 神保 幸次郎

一学期も残すところ3週間ほどになりました。高学年では移動教室を実施し、全校ではプール学習や平素の学習に勤しむ子どもたちの姿があります。子ども間での大小様々なトラブルも日々ありますが、その都度、担任等が子どもに丁寧に聞き取りをして、子ども自身がどうしたかったのか、これからどうすればよいかを見出せるよう、支援と指導を重ねています。時間が掛かることもありますが、子どもが納得することがその後の成長と心のケアに関わりますので、子どもから直接、話を聞くことが欠かせません。ご家庭でもご理解・ご支援をお願いいたします。

さて、6月10日は「時の記念日」でした。制定当時（大正9年）、欧米の先進国から日本人は「時間感覚が乏しい」とみられていたことから、「時間を守り効率的な生活をする」や「時間を大切にする」といった啓発の意味により制定されたそうです。

「時間を守る」と言えば金沢小の特色である「ノーチャイム」があります。多くの学校でチャイムがある中、30年以上続く「ノーチャイム」の実践は、今も子どもたちに根付いています。フリータイム（休み時間）では終了のおよそ5分前になると校庭で遊んでいた子どもたちが校舎へと向かっていきます。教室では、次の授業の時間前には教室に入り、学習の準備を始めています。先週の日光移動教室では、食事、お風呂、出発などあらゆる場面で、教員から時間に遅れないよう促すようなことはなく、時間通りに生活し、活動をすることができていました。

そのような自立と自律を育むことができる「ノーチャイム」の取組をこれからも大切にしていきます。一方で、じっくりと課題に取り組む時間、困りごとなどに寄り添いながらもしっかり向き合える時間も大切にし、心の成長を支援していきたいと思います。

＝学校だよりと学年だよりの統合とお便り類のオンライン配布について＝

・統合

今月号から学校だよりの裏面に学年だよりの内容を精選して記載し、統合化しました。

タイムリーな情報は、学校ホームページや1人1台端末のクラスルームで連絡をしていきます。

・オンライン配布

スマートフォンの普及や学校における1人1台端末（クロームブックの貸与）などにより情報のオンライン化が一段と進んでいます。そこで9月よりお便り類をオンライン化します。素早い情報の伝達とペーパーレス化による環境への配慮、印刷・配布時間の削減などを兼ねています。

オンライン化するもの お便り類（学校だより、学年だより、保健だより、献立 など）

オンライン化しないもの 資料が紙のみのもの、署名等が必要なもの など

オンライン化の方法(配信方法)

・学校ホームページに掲載

・クロームブックのクラスルームに掲載

☆紙でほしい場合

・職員室前の棚に印刷したものを用意します。

・そこから児童が個別に取っていくようにします。

金沢小学校
ホームページ

